

COMPASS

知る力・想像する力・そしてその先へ



校長先生、教頭先生との面接練習が始まりました！！

実力テストのお知らせと 出願依頼書類のお願い

10月2日（金）に中学部では、7年生から9年生までを対象に実力テストを行います。この実力テストは近隣アジアの日本人学校で採用されており、中学1年生4月の学習から該当学年の現在までの学習内容が範囲となります。定期テストより広い範囲となりますが、日本の高校の志望校判定ができるものとなっており、内容は基本的な問題が多く出題されます。今までの学習の成果を振り返り、進路選択について考える材料にしてほしいと思います。なお、コロナ禍でなかなか模擬試験などが実施されず、自分の実力を測る機会がありませんので、**7、8年生にもぜひ有効活用していただきたい**と思います。ご家庭でもお子様と一緒に志望校を考えてみてください。詳しくは各学年よりお知らせいたします。

また、9年生はいよいよ入試に関する書類作成の依頼が始まりました。今年度は昨年までとは異なり、出願方法も多種多様になってきております。特にWeb出願の学校は、全てをWeb上で行う学校もあれば、一部郵送しなければいけない学校もあります。特に学校側に依頼する書類がない場合もありますが、そういった場合でも学校間で調査書のやり取りをするため、**依頼封筒は一度必ずご提出ください。**

【批判的思考とは・・・】

物事を批判的に捉えることではありません。簡単に言うとたくさんのデータをもとに、客観的に物事を分析していく思考力のことです。

テレビでストリートチルドレンや貧困の特集を見て、解決したいと思った時・・・

A 募金するだけで本当に解決になるのかな？

今、求められている視点はどちらだろう??

B 永続的に解決できる仕組みを考えてみようかな？

今後の社会で必要とされるのはどっちだろう。

2020年度 TOK的思考方・入試の変化

TOKという言葉を目にしたことはありますか。Theory Of Knowledgeの略ですが、これは国際バカロレアディプロマプログラム（IBDP）の中のコア科目と呼ばれているものの一つです。基本的には批判的思考力を育成する科目ですが、現在非常に注目されている科目の一つとなっています。この教科では本校でも取り組んでいるSDGsと類似した考え方を学ぶのですが、世界で起こっている社会的な問題に対して、様々な視点からアプローチし、問題の根本を分析した上で、どのような解決法が導き出せるのか、必要なことは何かを考えるなどします。

例えば、上の絵をご覧ください。テレビ番組等で世界のストリートチルドレンの話や貧困の話を見て、何か行動に移したいと思ったとします。Aは、『募金をして、今すぐ必要なお金を届けよう』という考え方です。一方Bは、『貧困を解決するための社会的仕組みを考えよう』という考え方です。Aでも、現状の問題は一時的には解決できます。でも、根本的解決にはな

りません。いつか誰も金銭面の支援ができなくなってしまうと、さらに困った状況になるでしょう。一方、貧困な状況に置かれている人たちが自立できる仕組みを考えようとするBは、時間はかかりますが、長い目で見ると根本的な解決につながるような気がします。

今、必要とされている視点はBではないでしょうか。今年度、コロナ禍において、特にバンコクでの受験可能な高校が軒並み、学力を測る学力試験から、思考力を測る小論文や事前課題の作文などの形式に試験の形態をシフトしています。大学受験のAO入試にも近くなってきました。思考力や多角的なものの考え方、深い思考などは簡単に身につくものではありません。普段の生活や学活、総合、道徳などの科目を通して培われる力です。7年生、8年生は『受験はまだ先』と思わず、自分の視野を広げ、知識を身に付けるための努力をしてほしいと思います。9年生は目の前に迫った受験ですが、今まで取り組んできたことを今一度振り返り、生かしてほしいと思います。